

施設関係者評価実施報告書

令和4年 3月 28日

報告者氏名

田中 圭



①全体評価

コロナの中で安全に行事を行うにはどうすればいいかを工夫し、大きな行事を中止することなく実施することができたことや、新たな試み（YouTube配信・Zoomを利用した職員会議など）計画し実施したことを高く評価する。

②学校評価の個別評価

教育課程・指導

教育課程・全体的な計画に基づいた各指導計画の下、個々の発達に即した指導がされている。

保健管理

コロナに関する情報や予防の徹底、その他感染症等の情報提供や年二回の健康診断の結果を保護者に伝える。以上児の尿検査の実施。
以上児のマスク着用が身に付き、手洗い消毒も徹底した。

安全管理

毎月の避難訓練において、園児・職員共に防災意識を高める指導が行われている。
事故防止委員会を設置し、会議等を行い職員間で情報を共有している。

組織運営

職員のバランスを配慮して計画を立てており、得意な所を活かせるようにしている。

研修(資質向上の取組)

園内外の研修に参加し、一人一人の職員がスキルアップ出来るよう研修がなされている。

教育目標・学校評価

チェックリストによる総合的な自己評価とクラス毎の教育・保育の評価が正しくなされている。

情報提供

玄関での掲示板やお便り帳・お手紙やスライドを使ったドキュメンテーションやお誕生会のYouTube生配信を行っている。

子育て支援

送迎時の情報交換やお便り帳の活用。必要に応じて個人面談等行われている。

預かり保育

延長保育や一時預かりなど保育時間外の体制も配備されている。

教育環境整備

園内全体の安全に遊べる空間の確保と、教育・保育に即した環境の見直しを図られている。

③その他必要な評価

食育活動

コロナ禍で食育活動が思うように進めることが出来なかったが、手作りおやつ等工夫がされていて子どもたちもとても喜んでいた。

④課題と検討

コロナ対策を園だけでは無理だということを改めて家庭にも積極的に伝え、引き続き出来る限りの対策を講じる。コロナだから出来ないではなく、どうしたら出来るかを考えその中で子どもたちに色々な経験を通して成長出来るよう手助けする。